

様式 5

平成 29 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 30 年 5 月 21 日

学 長 殿

所属部局・職名共生システム理工学類・准教授

申 請 者 名 笠井 博則

助成事業の区分 (該当するものに印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等運営・学会参加) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事業名	第 10 回 福島応用数学研究集会
事業実施期間	平成 30 年 3 月 ~ 平成 30 年 3 月
成果の概要	<p>第 10 回福島応用数学研究集会を 2018 年 3 月 9 日(金)、10 日(土)の二日間「コラッセふくしま」において開催し、学内・学外を合わせて約 30 名の参加者があった。</p> <p>本研究集会では 8 件の 1 時間講演があり、古典的な問題の最新の成果・数理科学と関連する現実問題など最新研究に関する紹介などが行われる中で、休憩時間も含めた活発な討論・意見交換が行われた。また、会の終了後ディスカッションの時間を設けることで参加者同士の研究に関する情報交換が行われた。</p> <p>講演者(講演時の所属)・講演タイトル</p> <p>山本 宏子(明治大・先端数理科学インスティテュート) 「半線形波動方程式の反応拡散近似」</p> <p>大林 一平(東北大学・材料科学高等研究所) 「Volume Optimal Cycles for Persistent Homology」</p> <p>大浦 拓哉(京都大学・数理解析研究所) 「二重指数関数型積分公式の仕組みと応用」</p> <p>Muratori Matteo (ミラノ工科大学) 「Nonlinear diffusions of porous medium type: well-posedness, smoothing effects and functional inequalities」</p> <p>和田 正樹(福島大学・人間発達文化学類) 「Fundamental solutions of critical Schroedinger operators」</p> <p>永幡 幸生(新潟大学・工学部) 「On scaling limit of a cost in adhoc network model」</p>

Paolo Salani (フィレンツェ大)

「Stability for some Geometric-Analytic Inequalities」

石毛 和弘 (東北大学・理学研究科)

「Large time behavior of solutions of the heat equation with inverse square potential」